

# 平成29年度 学校自己評価表

（ 計画段階 ・ 実施段階 ）

91

福岡県立鞍手高等学校長 印  
（定時制課程）

学校運営計画（4月）					
学校運営方針		基礎的・基本的な学習を徹底し鍛え、一人ひとりの評価を充実させ学習意欲を高めることで、確かな学力の育成を図る。 より深い生徒理解に努めるとともに、健康・安全の指導を充実させる。 個に応じた進路指導を行い、希望進路実現に対する意識の高揚を図る。			
昨年度の成果と課題		本年度重点目標	具体的目標		評価（3月）
生徒と教師の信頼関係に基づく取り組みにより、授業規律の確立と問題行動の防止等の面で着実に成果が表れている。今年度はさらに、基礎学力の定着、生徒会主体の学校行事の実施、より細やかな生徒指導、生徒の自主的な進路選択の支援を柱に、活力ある学校づくりを推進する。	確かな学力の育成を行う。		授業改善を図り、生徒が自ら学ぼうとする授業を目指す。		A
	円滑な進級・卒業と特別活動の充実を図る。		出席不振者や成績不振者の指導・改善に努める。		
	より深く生徒を理解し、生徒相互、生徒・職員間のよりよい信頼関係をつくる。		日常的に生徒に関する情報や意見の交換を行い、共通理解のもと、全職員で指導を行う		
	生徒の心身の健康状態の把握に努める。		個人面談や学校生活アンケートをもとに、生徒の生活状況を把握し、健康な学校生活が送れるよう支援する。		
	生徒の自主的な進路選択を支援する。		早期に進路希望を把握し、その実現に向けた支援を行う。		
生徒一人ひとりを大切に、人権が尊重される環境づくりに取り組む。		学期ごとに全職員で個人面談を行い、生徒一人ひとりの把握に努める。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）		次年度の主な課題
教 務	確かな学力の育成	授業改善を図り魅力ある授業を行い、授業への意欲を喚起する。	A	A	落ち着いた授業の雰囲気の中で、生徒は意欲的に学習に取り組んでいる。中途退学者は3名いたが、十分な指導は尽くした。総合的な学習の時間は様々な内容を実施し、十分に生徒の興味・関心を引き出すことができた。次年度は家庭や事業所等とより一層連携し、生徒が抱える個々の課題の解決に努めたい。
		提出物などで理解度や学習状況を把握する。	A		
		皆勤・精勤の表彰を年3回行い、出席状況の改善を目指す。	B		
	円滑な進級・卒業と特別活動の充実	出席不振者や成績不振者の指導・改善に努める。	A		
		総合的な学習の時間やホームルーム活動を通して興味・関心を引き出す。	A		
家庭や事業所等との連絡を密にする。	A				
生徒指導	規範意識の向上や自己の責任を果たせるよう指導し、充実した学校生活を送る。	教師が率先して挨拶の模範を示し、自ら挨拶のできる生徒を育成する。	A	A	挨拶の徹底を強化し、生徒相互間においても信愛の念をもって挨拶を行えるように心掛け、好ましい人間関係を育てることによってより安心・安全な学校環境に努める。友人との会話やSNS等のやり取り、行動の行き違いによるトラブルを防ぐため、言語に対する意識を指導に当たり、言語環境を整える。定期的な個人面談やアンケート等による生徒の抱える問題や悩みへの迅速かつ丁寧な対応を継続する。
		情報端末機の不適切な使用に対して、指導の徹底を図る。	A		
	教師と生徒及び生徒相互の信頼関係を築く。	個々の役割と責任について自覚させ、集団生活の向上に努めさせる。	B		
	自他の健康・安全についての理解を深めさせる。	個人面談や学校生活アンケート等により、細かな生徒把握に努める。	A		
進路指導	生徒の自主的な進路選択を支援する。	学校行事等、異学年で交流する機会を設けて良好な人間関係を構築する。	A	A	年間の平均就業率は、79.8%で殆どの生徒が働きながら通学をしているが、更なる就業率の向上に努めたい。就職において、ハローワークと連携をして就職支援をしているが、更に連携を深め就職率の向上を目指す。企業人による進路講演会等を実施し、生徒に進路を考えさせる上での一助とする。
		規範意識育成講演会を実施し、健康・安全に留意させ、自他の生命を尊重する態度を育てる。	A		
	生徒への細やかな進路情報の提供に努める。	自らの能力や適性を自覚させるためにも、在学中の就業の促進を図る。	A		
保 健	心身の健康の保持増進を図る。	企業人等による進路講話を実施し、生徒の進路選択を支援する。	A	A	定期健康診断の受診率は高いが、全員受診には至っていない。今後、保健便り等を通じ全員受診を目指したい。給食室でのマナーや挨拶はとても良い。残食数も少なくなっている。環境整備については、生徒会中心に教室や敷地内の美化を行っており、清潔な学習環境が整っている。
		進路ガイダンスを実施し、自らの進路を考えさせる。	A		
	給食マナーの向上を目指す。環境整備と美化に努める。	ハローワークとの連携を深め、進路情報の収集に努める。	B		
部 活 動	自主的、自発的に行動する態度や責任感を養うと共に、健康・体力増進や運動技術の向上を図る。	進路ガイダンスを実施し、生徒の進路選択を支援する。	A	A	部活動を通じて規律、礼儀などを身に付け、生徒の模範となるよう意識を高めて部活動の活性化を図る。部活動の充実と活性化のための支援を充実させ、就業や学業との両立を図るための活動の工夫を講じる。
		組織の中で周囲と協力・連携し、コミュニケーション能力を身につけることで、個性を伸ばし、責任感を養わせる。	A		
		個にあった指導を行い、運動技術の向上と体力の強化を図る。	B		
人権・同和教育担当	人権についての正しい知識や認識を深め、人権を尊重する技能や態度を育成する。	目標設定を行い、日々の練習を充実させ、大会等で成果を発揮させる。	A	A	人権・同和教育に対する校内外の研修会に全職員が参加することができた。生徒の情報共有による共通理解を継続し学校生活が生徒一人ひとりにとって、また学校全体といった集団にとっても充実したものとなるようにする。家庭、地域、関係機関等と連携を密にし、進路保障の取り組みを強化することですべての生徒の進路保障の徹底に努める。
		人権・同和教育授業の充実を図るとともに、生徒に実践させる機会を意図的に設ける。	B		
		人権・同和教育に関する研修会に積極的に参加する。	A		
	自立・自己実現を支援する生徒指導・進路指導の充実	事例研究会の充実を図り生徒を深く理解する。	A		
		事務室と連携し生徒の経済的支援状況を把握する。	A		
保護者と連携を図り生徒の進路保障に努める。	B				